



平成25年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年9月5日

上場会社名 株式会社東京楽天地 上場取引所 東
 コード番号 8842 URL <http://www.rakutenchi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山田啓三
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岡村 一 (TEL) 03(3631)5195
 四半期報告書提出予定日 平成24年9月14日 配当支払開始予定日 平成24年10月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年1月期第2四半期の連結業績(平成24年2月1日～平成24年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年1月期第2四半期	4,632	△0.8	627	4.5	670	26.0	267	675.5
24年1月期第2四半期	4,667	△5.2	600	△13.5	531	△30.0	34	△91.1

(注) 包括利益 25年1月期第2四半期 337百万円(—%) 24年1月期第2四半期 △5百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年1月期第2四半期	4.46	—
24年1月期第2四半期	0.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年1月期第2四半期	33,225	25,106	75.6	419.48
24年1月期	33,904	25,066	73.9	418.53

(参考) 自己資本 25年1月期第2四半期 25,106百万円 24年1月期 25,066百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年1月期	—	3.00	—	5.00	8.00
25年1月期	—	3.00	—	—	—
25年1月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年1月期の連結業績予想(平成24年2月1日～平成25年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,300	△1.3	1,280	△4.0	1,340	3.9	630	465.3	10.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(注1) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(注2) 平成24年2月1日をもって、当社は、楽天地建物株式会社（当社の非連結子会社）を吸収合併し、株式会社楽天地サービス（当社の連結子会社）は、株式会社アルフィクス（当社の非連結子会社）を吸収合併いたしました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年1月期2Q	65,112,187株	24年1月期	65,112,187株
25年1月期2Q	5,260,035株	24年1月期	5,220,688株
25年1月期2Q	59,884,421株	24年1月期2Q	59,897,810株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビューは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興需要を背景に、個人消費や民間設備投資には緩やかな持ち直しの動きがみられましたが、雇用情勢は依然として厳しく、海外経済の下振れ懸念もあり、景気の先行きは不透明なまま推移いたしました。

このような状況下において、売上高は4,632百万円と前年同四半期に比べ35百万円(0.8%)の減収となり、営業利益は627百万円と前年同四半期に比べ26百万円(4.5%)の増益、経常利益は670百万円と前年同四半期に比べ138百万円(26.0%)の増益、四半期純利益は、前年同四半期に計上した「資産除去債務に関する会計基準」の適用に伴う影響額がなくなったことなどから、267百万円と前年同四半期に比べ232百万円(675.5%)の増益となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりであります。

(不動産賃貸関連事業)

不動産賃貸事業では、主力の楽天地ビルをはじめとする各ビルにおきましては、設備の更新やビルテナントに対するきめ細かな対応、「グルメスタンプラリー」や「チケ得」などの販促活動を継続することで顧客満足度の向上を図りましたが、楽天地ダービービルの賃料減額要請を受け入れましたので、前年同四半期を下回りました。

ビルメンテナンス事業では、引き続き新規物件の獲得に努めましたが、官公庁関係では、激しい入札競争のもと受注額を伸ばすことができず、前年同四半期を下回りました。

以上の結果、不動産賃貸関連事業の売上高は2,549百万円と前年同四半期に比べ40百万円(1.6%)の減収となり、セグメント利益は1,098百万円と前年同四半期に比べ87百万円(7.3%)の減益となりました。

(娯楽サービス関連事業)

映画興行事業では、「テルマエ・ロマエ」「メン・イン・ブラック3」「名探偵コナン 11人目のストライカー」「BRAVE HEARTS 海猿」等が好稼働しましたが、その他の作品が振るわず、前年同四半期を下回りました。

温浴事業では、「楽天地天然温泉 法典の湯」は震災による休業がなくなったことにより、また、「天然温泉 楽天地スパ」は知名度が高まりお客様が増加したことにより、前年同四半期を上回りました。

フットサル事業では、「楽天地フットサルコート錦糸町」「楽天地フットサルコート調布」が引き続き堅調に稼働し、前年同四半期を上回りました。

以上の結果、娯楽サービス関連事業の売上高は1,389百万円と前年同四半期に比べ3百万円(0.2%)の増収となり、セグメント利益は、不採算のゲームセンター事業から昨年4月に撤退したこともあり、79百万円と前年同四半期に比べ72百万円(1,022.9%)の増益となりました。

(飲食その他事業)

飲食事業では、ドトールコーヒー系フランチャイズ店11店は、震災後の一部店舗における休業や営業時間短縮による影響がなくなりましたが、昨年9月をもって「かつや千葉本八幡店」を閉店しましたので、前年同四半期を下回りました。

その他の事業では、ダービービル売店は、震災による競馬開催中止の影響がなくなり、宝くじ販売についても、ジャンボ宝くじの販売が好調だったことなどから、前年同四半期を上回りました。

以上の結果、飲食その他事業の売上高は693百万円と前年同四半期に比べ2百万円(0.3%)の増収となり、セグメント利益は38百万円と前年同四半期に比べ12百万円(48.0%)の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産は33,225百万円と前連結会計年度末に比べ679百万円の減少となりました。これは主として、現金及び預金が増加した一方で、有価証券が償還となったこと、短期貸付金が返済されたこと、有形固定資産の減価償却がすすんだことによるものであります。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は8,118百万円と前連結会計年度末に比べ719百万円の減少となりました。これは主として、浅草事業場のテナントに対する立退補償金の支払いにより、未払金が増加したことによるものであります。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は25,106百万円と前連結会計年度末に比べ40百万円の増加となりました。これは主として、四半期純利益を計上したこと、その他有価証券評価差額金が増加したこと、および配当金を支払ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

(通期の見通し)

不動産賃貸関連事業は、楽天地ビルをはじめとする主力ビルやその他のビルにおいて、引き続き高水準で稼働いたしますが、場外馬券場として賃貸しております楽天地ダービービルの賃料減額が影響し、ビルメンテナンス事業におきましても厳しい受注環境が続いており、売上高、セグメント利益とも前年同期を下回る見込みであります。

娯楽サービス関連事業は、映画興行事業におきましては、デジタル映写機導入費用が発生するもの、おおむね堅調に推移し、温浴事業ではオープン3年目を迎えた「天然温泉 楽天地スパ」が地元のお客様の支持を得て順調に稼働し、昨年の震災の影響もなくなることから、売上高、セグメント利益とも前年同期を上回る見込みであります。

飲食その他事業は、ドトールコーヒー系フランチャイズ店をはじめとする飲食店舗におきましては、一部地区において近隣の競合店との競争が激化しております。一方、宝くじ販売においてはジャンボ宝くじの売上に復調の兆しが見られることから、飲食その他事業全体では、売上高、セグメント利益ともほぼ前年同期並みとなる見込みであります。

以上により、通期の連結業績予想は、売上高9,300百万円(前年同期比1.3%減)、営業利益1,280百万円(前年同期比4.0%減)、経常利益1,340百万円(前年同期比3.9%増)、当期純利益630百万円(前年同期比465.3%増)を見込んでおります。なお本日、「平成25年1月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と決算値との差異および通期連結業績予想の修正ならびに特別損失の発生に関するお知らせ」を別途開示しておりますので、あわせてご覧ください。

なお、業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(25年1月期 報告セグメントごとの通期業績予想)

1 外部顧客への売上高

	不動産賃貸関連事業	娯楽サービス関連事業	飲食その他事業
通期予想(百万円)	5,050	2,880	1,370
前期実績(百万円)	5,218	2,808	1,399
対前期増減率(%)	△3.2	2.5	△2.1

2 セグメント利益

	不動産賃貸関連事業	娯楽サービス関連事業	飲食その他事業
通期予想(百万円)	2,230	150	55
前期実績(百万円)	2,402	46	54
対前期増減率(%)	△7.2	219.7	1.6

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、平成24年2月1日をもって、当社は、楽天地建物株式会社(当社の非連結子会社)を吸収合併し、株式会社楽天地セルビス(当社の連結子会社)は、株式会社アルフィクス(当社の非連結子会社)を吸収合併いたしました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更および過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,767,521	2,769,348
売掛金	205,908	197,854
有価証券	2,470,475	1,868,397
その他	877,901	340,208
貸倒引当金	△32	△42
流動資産合計	5,321,774	5,175,767
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,423,464	16,884,899
土地	5,535,216	5,654,309
その他(純額)	385,704	455,421
有形固定資産合計	23,344,385	22,994,630
無形固定資産	257,120	304,870
投資その他の資産		
投資有価証券	3,682,023	3,628,211
その他	1,299,243	1,121,972
投資その他の資産合計	4,981,267	4,750,184
固定資産合計	28,582,772	28,049,685
資産合計	33,904,547	33,225,453

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	306,706	300,517
未払法人税等	19,755	246,787
賞与引当金	46,383	47,947
事業整理損失引当金	225,700	65,376
その他	2,128,389	1,438,674
流動負債合計	2,726,934	2,099,302
固定負債		
退職給付引当金	550,502	530,745
役員退職慰労引当金	82,774	87,289
資産除去債務	355,668	328,400
受入保証金	5,090,315	5,022,869
その他	31,818	50,166
固定負債合計	6,111,077	6,019,471
負債合計	8,838,011	8,118,773
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,046,035	3,046,035
資本剰余金	3,378,537	3,378,537
利益剰余金	20,520,220	20,501,717
自己株式	△1,962,542	△1,974,244
株主資本合計	24,982,250	24,952,045
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	84,284	154,634
その他の包括利益累計額合計	84,284	154,634
純資産合計	25,066,535	25,106,679
負債純資産合計	33,904,547	33,225,453

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)
売上高	4,667,456	4,632,340
売上原価	3,514,240	3,439,431
売上総利益	1,153,216	1,192,909
一般管理費	552,709	565,484
営業利益	600,506	627,425
営業外収益		
受取利息	14,162	5,742
受取配当金	33,655	23,138
持分法による投資利益	305	70,535
投資有価証券売却益	—	26,669
その他	12,327	46,500
営業外収益合計	60,451	172,587
営業外費用		
支払利息	40,474	35,843
固定資産除却損	23,405	52,664
投資有価証券評価損	38,945	—
事業整理損	—	29,272
その他	26,270	12,052
営業外費用合計	129,096	129,832
経常利益	531,862	670,179
特別利益		
事業整理損失引当金戻入額	20,756	—
特別利益合計	20,756	—
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	150,537	—
事業整理損失引当金繰入額	—	65,376
減損損失	—	82,445
特別損失合計	150,537	147,821
税金等調整前四半期純利益	402,080	522,358
法人税等	367,644	255,321
少数株主損益調整前四半期純利益	34,435	267,036
四半期純利益	34,435	267,036

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	34,435	267,036
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39,786	70,349
その他の包括利益合計	△39,786	70,349
四半期包括利益	△5,351	337,386
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,351	337,386
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年2月1日 至 平成23年7月31日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注2)
	不動産賃貸 関連事業 (千円)	娯楽サービス 関連事業 (千円)	飲食その他 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	2,590,255	1,386,149	691,052	4,667,456	—	4,667,456
セグメント間の内部 売上高または振替高	216,530	773	317	217,621	△217,621	—
計	2,806,785	1,386,922	691,369	4,885,077	△217,621	4,667,456
セグメント利益	1,185,936	7,103	26,209	1,219,249	△618,742	600,506

- (注) 1. セグメント利益の調整額△618,742千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△552,709千円、セグメント間取引消去△66,033千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年2月1日 至 平成24年7月31日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注2)
	不動産賃貸 関連事業 (千円)	娯楽サービス 関連事業 (千円)	飲食その他 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	2,549,376	1,389,552	693,412	4,632,340	—	4,632,340
セグメント間の内部 売上高または振替高	211,271	967	328	212,567	△212,567	—
計	2,760,648	1,390,519	693,740	4,844,908	△212,567	4,632,340
セグメント利益	1,098,840	79,768	38,803	1,217,412	△589,986	627,425

- (注) 1. セグメント利益の調整額△589,986千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△565,484千円、セグメント間取引消去△24,502千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損またはのれん等に関する情報

「不動産賃貸関連事業」において、取り壊し予定の賃貸マンションについて8,730千円、「飲食その他事業」において、当初の収益見込みを下回ることとなった一部店舗について73,714千円、それぞれ減損損失を計上しました。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。